



2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年7月30日

上場会社名 株式会社マースグループホールディングス
コード番号 6419 URL <https://www.mars-ghd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松波 明宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 高橋 丈治

TEL 03-3352-8555

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	13,563	62.2	4,893	75.5	5,320	69.6	3,698	66.0
2024年3月期第1四半期	8,359	144.4	2,788	826.6	3,136	489.3	2,227	534.2

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 3,336百万円 (1.1%) 2024年3月期第1四半期 3,373百万円 (197.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	204.44	
2024年3月期第1四半期	135.69	135.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	84,423	73,702	87.3	4,058.34
2024年3月期	83,956	71,254	84.9	3,975.65

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 73,702百万円 2024年3月期 71,242百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		60.00		90.00	150.00
2025年3月期					
2025年3月期(予想)		120.00		75.00	195.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,700	19.3	7,040	20.8	7,440	17.9	5,040	15.7	279.11
通期	37,000	1.2	11,700	0.0	12,520	0.2	8,600	0.2	476.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	22,720,000 株	2024年3月期	22,720,000 株
期末自己株式数	2025年3月期1Q	4,559,190 株	2024年3月期	4,800,290 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	18,090,789 株	2024年3月期1Q	16,418,660 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用や所得環境の改善を背景とした個人消費の改善やインバウンド需要の拡大の動きが見受けられました。その一方で、ウクライナ及び中東情勢の長期化による世界情勢の緊迫化、円安の影響による原材料価格やエネルギー価格の高騰、物価の上昇等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループはアミューズメント関連事業、スマートソリューション関連事業、ホテル・レストラン関連事業の各事業を通じてお客様の「満足」を勝ち取るために新たな付加価値の追求をまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高135億63百万円（前年同四半期比62.2%増）、営業利益48億93百万円（同75.5%増）、経常利益53億20百万円（同69.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益36億98百万円（同66.0%増）となりました。

セグメントの実績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。前年同期比較につきましては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等の注記)」をご参照ください。

また、セグメント間の取引については相殺消去して記載しております。

[アミューズメント関連事業]

アミューズメント関連事業の主要販売先であるパチンコ業界では、レジャーの多様化や少子高齢化・若年層のパチンコ離れにより遊技人口の減少が続きました。遊技機や周辺設備への投資が困難なパチンコホールの閉店・廃業が相次ぐ一方で、資金力を有する大手企業は、新規出店やM&Aを積極的に行い、パチンコホールの二極化が進みました。

スマート遊技機（スマートパチンコ、スマートパチスロ）が市場に導入されて以降、低迷していた周辺設備の更新も徐々に活発化し、パチスロ市場におけるスマートパチスロの普及率は35%を超えました。更にはパチスロの人気に牽引されて、パチンコ島からパチスロ島への切り替え工事の案件が増加し、パチンコホール内におけるパチスロの設置比率も高まってきました。一方、パチンコ市場においては、2024年3月より導入が開始されたラッキートリガー搭載機の登場により復調傾向にあります。スマートパチンコの普及率は数%程度に留まっておりますが、7月以降に発売される新内規対応のスマートパチンコが注目されております。

このような状況の中、当社グループではスマート遊技機専用ユニットを中心に、少人数でホール運営が可能なパーソナルPCシステム（以下「パーソナル」）及び遊技データ等の収集・AI分析が可能な「マースユニコン」等、豊富なラインナップを武器にトータルシステムでの提案・販売を行い、特にスマート遊技機専用ユニットの販売は好調に推移いたしました。また、2024年7月発行の新紙幣の対応におきましては、全国に広がるメンテナンス網を通じてソフトウェアのバージョンアップや機器の入れ替え等、早期対応を促進いたしました。

当第1四半期連結累計期間におけるプリペイドカードシステム（パーソナルやスマート遊技機専用ユニットを含む）の売上実績は33店舗、導入（実稼働）店舗数は累計1,432店舗（市場シェア23.6%）となりました。

7月に全国主要都市で5年ぶりとなる「2024マース新製品発表展示会」を開催し、新製品である『EVOALL（エヴォール）シリーズ』を発表いたしました。今後、新製品を中心とした販売を予定しております。

この結果、アミューズメント関連事業の売上高は、117億27百万円（前期比76.3%増）、セグメント利益は49億7百万円（同70.7%増）となりました。

[スマートソリューション関連事業]

スマートソリューション関連事業は、AI、ロボット、高度なデータ処理等の技術やRFIDの活用により、現在のシステムと情報システムを融合し、作業の効率化や人材不足といった社会的課題を解決する製品やサービスを生み出し続けていくことを使命としております。

主要販売先となる自動認識システム業界は、バーコードやRFIDを活用して製品の追跡や在庫管理の効率化を図ることができるため、小売業や製造業など幅広い分野で活用されており、今後も新技術の導入や用途の拡大等、市場の更なる成長が期待されております。

このような状況の中、当社子会社の株式会社マーストークンソリューションでは、需要が拡大している分野において新製品の開発を進めております。中でも需要の拡大が見込まれる画像処理分野では、前期リリースした目視による検査判別を低コストで自動化した画像処理システム「MoMaVi（モマビ）」を中心とした新製品の販売に注力しました。また、健診市場においてDXを推進するクラウド健診システム「macmo（マクモ）」の拡販を推し進めるために人員を増員し、販売体制を強化してまいりました。

当社子会社の株式会社マースウインテックでは、IoT冷蔵物販自販機や無人チェックイン端末等、省人化・無人化を実現するシステム「Infinity Station」シリーズを開発・販売してまいりました。

この結果、スマートソリューション関連事業の売上高は、12億8百万円（前期比0.6%増）、セグメント利益は56百万円（同64.9%増）となりました。

[ホテル・レストラン関連事業]

ホテル業界ならびに外食業界は、コロナ禍からの経済社会活動の正常化が進み、観光や外食の需要は本格的な回復に向かっているほか、円安の影響を受けてインバウンド需要も高まっており、業界全体が回復基調で推移いたしました。しかし、深刻な人手不足や原材料価格の高騰による運営コストの増加や、オーバーツーリズムが課題となっております。

このような状況の中、「マースガーデンホテル博多」及び「マースガーデンウッド御殿場」では、お客様に寄り添った最高のホスピタリティの提供、マースガーデンクラブ会員獲得の強化、SNSを活用したマーケティング戦略を実施し、ロイヤルカスタマーの獲得に努めてまいりました。また、ダイナミックプライシングを活用した価格戦略を展開し、収益の向上に取り組むとともに、アップセルやクロスセルを通じて客単価の向上を図ってまいりました。

レストラン事業では、東京銀座エリアの「銀明翠GINZA」及び「銀座松月」を中心に、質の高いおもてなしと料理で付加価値を高め、ブランド力の向上に努めてまいりました。

この結果、ホテル・レストラン関連事業の売上高は、6億27百万円（前期比24.0%増）、セグメント利益は18百万円（前期は26百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間末の総資産は844億23百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億66百万円増加いたしました。

流動資産は498億81百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億32百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、受取手形及び売掛金が12億70百万円増加し72億73百万円となりました。

固定資産は345億41百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億66百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、投資有価証券が3億42百万円減少し162億58百万円となりました。

流動負債は81億39百万円となり、前連結会計年度末と比較して21億87百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、未払法人税等が22億59百万円減少し14億8百万円となりました。

固定負債は25億81百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億5百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、繰延税金負債が2億12百万円増加し10億71百万円となりました。

純資産は737億2百万円となり、前連結会計年度末と比較して24億48百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、利益剰余金が20億85百万円増加し601億87百万円となりました。

自己資本比率は87.3%となり、前連結会計年度末と比較して2.4ポイント増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は292億70百万円となり、前連結会計年度末と比較して83百万円減少いたしました。

当第1四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は13億24百万円の収入（前年同四半期は17億53百万円の収入）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益53億48百万円等によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は5億77百万円の支出（前年同四半期は2億24百万円の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出5億34百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は8億45百万円の支出（前年同四半期は5億21百万円の支出）となりました。これは、配当金の支払額15億70百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,353,869	29,270,225
受取手形及び売掛金	6,002,812	7,273,541
リース債権及びリース投資資産	420,918	370,662
有価証券	350,035	350,140
商品及び製品	5,051,742	4,598,976
仕掛品	326,269	401,208
原材料及び貯蔵品	6,230,298	5,935,977
その他	1,570,216	1,734,631
貸倒引当金	△57,271	△53,948
流動資産合計	49,248,890	49,881,414
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,077,238	5,644,412
土地	10,007,470	10,007,470
その他(純額)	1,003,762	714,966
有形固定資産合計	16,088,471	16,366,849
無形固定資産		
投資その他の資産	323,054	332,557
投資有価証券	16,600,901	16,258,309
退職給付に係る資産	49,974	55,513
その他	2,104,738	1,734,005
貸倒引当金	△459,126	△205,489
投資その他の資産合計	18,296,486	17,842,339
固定資産合計	34,708,012	34,541,745
資産合計	83,956,902	84,423,159
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,338,627	4,350,890
リース債務	240,783	222,194
未払法人税等	3,667,889	1,408,318
賞与引当金	431,123	234,238
その他	1,648,862	1,923,728
流動負債合計	10,327,285	8,139,369
固定負債		
リース債務	288,543	286,719
役員退職慰労引当金	195,480	199,980
資産除去債務	61,914	62,032
その他	1,829,642	2,032,362
固定負債合計	2,375,580	2,581,093
負債合計	12,702,865	10,720,463

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,934,100	7,934,100
資本剰余金	9,500,829	9,753,163
利益剰余金	58,102,153	60,187,786
自己株式	△9,584,281	△9,100,520
株主資本合計	65,952,801	68,774,529
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,926,520	4,568,685
退職給付に係る調整累計額	363,216	359,482
その他の包括利益累計額合計	5,289,737	4,928,167
新株予約権	11,497	—
純資産合計	71,254,036	73,702,696
負債純資産合計	83,956,902	84,423,159

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	8,359,941	13,563,129
売上原価	3,637,501	6,583,009
売上総利益	4,722,439	6,980,119
販売費及び一般管理費	1,934,255	2,086,199
営業利益	2,788,184	4,893,919
営業外収益		
受取配当金	308,080	386,585
その他	40,618	40,357
営業外収益合計	348,698	426,942
経常利益	3,136,882	5,320,862
特別利益		
投資有価証券売却益	81,267	27,194
特別利益合計	81,267	27,194
税金等調整前四半期純利益	3,218,150	5,348,057
法人税、住民税及び事業税	960,916	1,372,355
法人税等調整額	29,383	277,295
法人税等合計	990,299	1,649,650
四半期純利益	2,227,850	3,698,406
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,227,850	3,698,406

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	2,227,850	3,698,406
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,135,827	△357,835
退職給付に係る調整額	10,152	△3,734
その他の包括利益合計	1,145,980	△361,569
四半期包括利益	3,373,830	3,336,836
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,373,830	3,336,836

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,218,150	5,348,057
減価償却費	137,308	168,085
引当金の増減額 (△は減少)	△168,564	△449,346
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	△5,539
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,582	—
受取利息及び受取配当金	△308,203	△386,585
投資有価証券売却損益 (△は益)	△81,267	△27,194
売上債権の増減額 (△は増加)	13,396	△1,270,728
リース債権及びリース投資資産の増減額 (△は増加)	53,201	37,522
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,749,618	672,148
営業貸付金の増減額 (△は増加)	47,670	10,419
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,327,246	12,262
リース債務の増減額 (△は減少)	△65,077	△20,412
その他	271,471	429,724
小計	2,701,296	4,518,412
利息及び配当金の受取額	308,203	386,585
法人税等の支払額	△1,255,621	△3,580,087
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,753,878	1,324,910
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△57,061	△534,754
投資有価証券の取得による支出	△403,040	△107,733
投資有価証券の売却による収入	294,393	56,872
その他	△59,245	8,218
投資活動によるキャッシュ・フロー	△224,953	△577,397
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の売却による収入	14,667	733,847
配当金の支払額	△559,298	△1,570,414
新株予約権の発行による収入	23,125	—
その他	—	△9,250
財務活動によるキャッシュ・フロー	△521,506	△845,817
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,981	14,660
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,023,399	△83,643
現金及び現金同等物の期首残高	22,700,571	29,353,869
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,723,970	29,270,225

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	スマート ソリューション 関連事業	ホテル・ レストラン 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	6,653,313	1,200,583	506,044	8,359,941	—	8,359,941
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	155,769	1,488	6,845	164,103	△164,103	—
計	6,809,082	1,202,071	512,890	8,524,044	△164,103	8,359,941
セグメント 利益又は損失 (△)	2,874,636	33,977	△26,668	2,881,945	△93,761	2,788,184

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△93,761千円には、セグメント間取引消去3,578千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△97,339千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	スマート ソリューション 関連事業	ホテル・ レストラン 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	11,727,491	1,208,153	627,484	13,563,129	—	13,563,129
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	135,135	6,995	7,535	149,666	△149,666	—
計	11,862,627	1,215,149	635,019	13,712,796	△149,666	13,563,129
セグメント利益	4,907,424	56,030	18,740	4,982,195	△88,275	4,893,919

(注) 1. セグメント利益の調整額△88,275千円には、セグメント間取引消去3,487千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△91,762千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、「アミューズメント関連事業」セグメントの定義の見直しを行った結果、「アミューズメント関連事業」セグメントに含まれていた株式会社マースウインテックの事業の一部を「自動認識システム関連事業」セグメントに含めて記載する方法に変更しております。

それに伴い、報告セグメントの名称を「自動認識システム関連事業」から「スマートソリューション関連事業」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。